

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

プライムデイリーフーズ株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市志和町冠2516-2

(3) 業種

調理パン・惣菜製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、令和__1年度を基準年度とし、令和__2年度から令和__4年度までの__3年間とする。

3 計画の基本的な方向

<環境経営理念>

「食と癒し」を提案する当社では本業である弁当・惣菜類の生産を通じて、製品及びサービスに係わる環境影響を常に意識し、地球温暖化問題への地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。安全で安心していただける商品を効率よく、無駄なく、タイムリーにお客様に提供することが当社の一番の環境対策と考えて、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組みます。

<環境保全への行動指針>

当社は、弁当・惣菜・調理パン製造に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を改善するために、次の方針に地球環境との調和を目指します。

当社の活動サービスに係わる環境影響を常に意識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境経営活動の継続的改善を図ります。なお環境保護には、継続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び気候変動への適応、並びに生物多様性及び生態系の保護などを含みます。

2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連の法的及びその他の要求事項を順守します。

3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。

(1) 電力使用量の削減 (CO2の削減)

(2) ガス使用量の削減 (CO2の削減)

(3) 水使用量の削減

(4) 産業廃棄物発生量の削減(食品リサイクル率95%以上)

(5) 環境に配慮した商品製造の推進

(6) 社会貢献活動(工場周辺清掃活動・地域の清掃活動への参加等)

(7) 事務用品のグリーン調達

4. 一人ひとりが環境負荷軽減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を組織の全員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。

5. 地域の環境改善活動に積極的に参画します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和1年度	令和1年度
二酸化炭素	2,886	2,886

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和1年度	令和1年度
二酸化炭素	0	0

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	令和1年度	令和1年度
メタン	0	0
一酸化二窒素	0	0
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)	0	0

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 () 年度)		削減目標		目標年度 (令和 () 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO2					0
非エネルギー起源CO2					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
その他 温室効果ガス					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量		-			0
目標設定の考え方					

※ 削減率(b) = (c)/(a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

売上高(百万円)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 (1) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 (4) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO2	2,886.00	4,619.00	0.62	3.2	2,900.00	4,800.00	0.60
非エネルギー起源CO2				#VALUE!			
メタン				#VALUE!			
一酸化二窒素				#VALUE!			
その他 温室効果ガス				#VALUE!			
総排出量	2,886.00	4,619.00	0.62	3.2	2,900.00	4,800.00	0.60
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	1,612	4,619	0.35	2.9	1,620	4,800	0.34
目標設定の考え方	排出量は現状維持とし、売上高は毎年1%増、3年計で3%増により原単位でも3%減を目指す。						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1	燃料使用量の削減	LPガス使用原単位の年1%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラーの空気比の適正化 ・ガス、蒸気未使用時の元栓閉口の徹底 ・蒸気漏れ箇所の早期修繕の徹底 ・蒸気、温水管の保温実施
2	電気使用量の削減	電気使用原単位の年2%削減	<ul style="list-style-type: none"> ・不要電気の消灯、未使用機器の電源OFFの徹底 ・空調機（室外機）のフィルター定期清掃実施 ・空調温度の適正化 ・コンプレッサー吐出圧管理 ・エアー漏れ箇所の早期修繕の徹底 ・高効率空調機への更新（工場） ・照明のLED化（事務所・食堂）
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

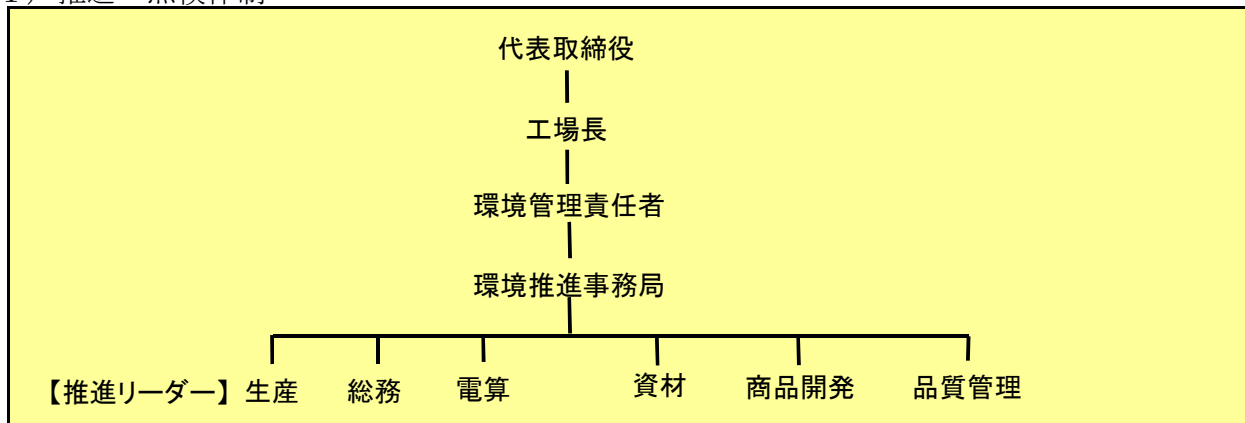
○ その他の取組

	項目	数値目標	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

環境管理責任者および環境推進事務局を中心にして温室効果ガス削減計画の取組状況の説明、点検及び問題点の検討を行い、定期的な評価・見直し等を行う。
毎年の取組状況、点検・評価内容等については、計画書と共に公表する。

(3) 計画書等の公表

工場にて閲覧する。